

地質調査所の展示「日本列島—石が語るさまざまな言葉」

6月20日(木)～25日(火)

EXPOセンター(万博第2会場)

坂本 亨(地質部)

Toru SAKAMOTO

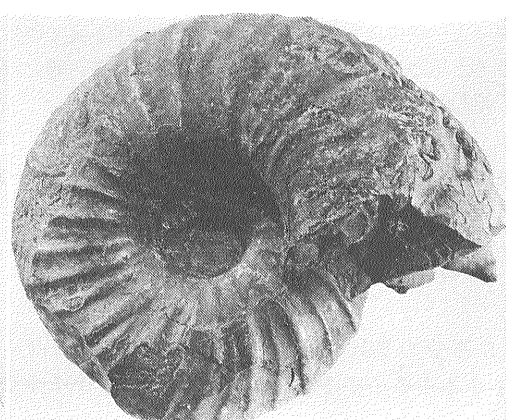
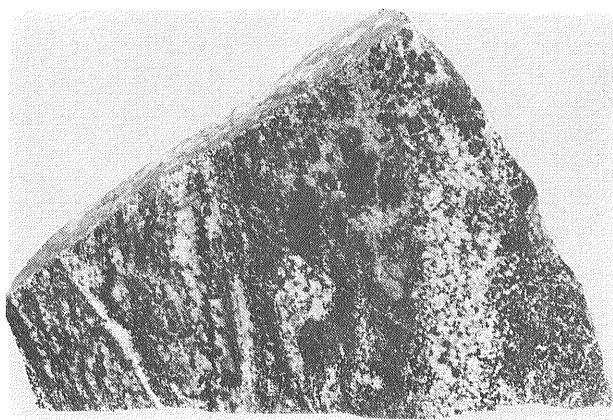
3月16日に開幕した「つくば EXPO '85」メイン会場の方ばかりに目が行きがちですが、実は研究学園都市の中心部に第2会場があります。EXPOセンターと呼ばれるのがそれ。ここでは日本の科学技術の紹介があったり、最新の技術を応用した展示や、世界最大のプラネタリウムをそなえたコズミックホールなど、いろいろな見どころがあります。それと同時に、ここでは1階と2階に特別コーナーが設けられていて、筑波にある研究機関が自分のところの研究内容をP.R.する場となっているのが特色です。各研究機関は1週間交替で、それぞれ独自のテーマに沿った展示を出品するわけです。

ところで、地質調査所もこの展示の一環として、6月20日から25日までの6日間、EXPOセンター1階のワークショップで展示をすることになりました。どんなテーマでアピールするか？どんなものを展示するか？調査所の仕事の多面的なことを反映して、企画段階から議論はつきなかつたのですが、最終的には日本全体の地質図(100万分の1)を中心に据えて、その周りに地質図と対応させる形で岩石・化石・鉱物などを配置す

るのをメインとし、壁面には地震予知・深海底調査・地熱開発という調査所の3大プロジェクトをパネルを主として展示するという線に落ちつきました。題して「日本列島—石が語るさまざまな言葉」。

本物の万博の方が、映像万博といわれるようにイメージ主体で構成されているのに対し、このコーナーではささやかながら実物で対抗(?)しよう。本物の標本を見てもらい、触ってもらい、自然の石がなるほど綺麗なものだ、面白いものだと思ってもらえばよいという考えです。こうした考えがどこまで成功するかは、担当者それぞれ苦労していますが、「乞御期待」というところです。6月20—25日、EXPOセンター1階のワークショップに注目して下さい。

なお、EXPOセンターも万博会場の一部ですから、メイン会場とセットになった入場券(大人2,700円)がないと入れません(その点ではメイン会場に入った時の半券を捨てないように、半券があれば当日でなくても、いつでも第2会場が見られます)。「EXPOはともかく、地質調査所の展示だけは見たい」という熱烈ファンのために、出展期間の前後に所内で展示をしてはと考えています。



A

B

展示標本の一例

A ザクロ石角閃石片麻岩(飛驒変成岩)

B 白亜紀のアンモナイト(北海道)